

大義のためにすべてを見せる

- (1) Er Shun と Ji Li は中国からカナダへ旅をすることになっている 2 頭のジャイアントパンダだ。
- (2) この 2 頭はトロントで 5 年、それからカルガリーで 5 年暮らすことになっている。
- (3) ジャイアントパンダは中国にのみ生息する絶滅危惧種だ。
- (4) 中国にとっては、単に抱き締めたくなるほどかわいらしい動物ということにとどまらない。
- (5) それは強力な象徴なのだ。
- (6) 中国がパンダを他国に貸し出すことを承諾した場合、それは外交上の友好関係の確かなしるしなのである。
- (7) 今回の申し出はステファン・ハーパー首相が最近中国を 4 日間訪問した時に行われた。
- (8) トロントとカルガリーの動物園は契約の一部として 1 年につき 100 万ドルの「貸出料」を中国政府に払わなければならないとバンクーバー・サンは報じている。
- (9) 中国はそのお金を国内にあるパンダの生息地の保護に当てることになっている。
- (10) 入場券や商品の売り上げが伸びることによって、各動物園が出費となる 500 万ドルを補って余りある結果を出すことが望まれる。